

令和3年度事業計画

運動方針、重点活動、スローガンは変更なし。

【運動方針】 日本の美風の「蘇生」と「新生」

【重点活動】 伝えよう、日本の心プロジェクト

【スローガン】 できる親切はみんなでしよう、それが命を守る力となるように

公益目的事業 1 「小さな親切」運動を通じて国民の心身の健全な発達と豊かな人間性を涵養

1. 「小さな親切」実行章贈呈事業

- 「伝えよう、日本の心プロジェクト」事業の一環として展開

海外との交流、外国人に親切にしたことが受章事由である個人、団体に特別バッジを贈呈。

- 親切実行者（個人・団体）の発掘と表彰

- 実行章バッジを代金前納（前払い）に変更

バッジ代金未入金の際の架電、再請求などの諸経費を軽減するため、非会員にはバッジ代金を前納してもらい、入金確認後にバッジを送付する。

2. 第46回「小さな親切」作文コンクール

- 「伝えよう、日本の心プロジェクト」事業の一環として展開

特別テーマ「世界との出会い ～ありがとう、どういたしまして～」を設けて募集

- 特別テーマ2を設定

コロナ禍の中で気づいた思いやり、他者との心の距離について考えたことについて綴ってもらおうと、特別テーマ2「コロナが教えてくれたこと」を設定。

- ポスターの作製を中止

教育機関にヒアリングした結果、学校でポスターを掲示していただく機会はかなり減少していることがわかったことから、作製費及び発送費削減のため、当該年度よりポスターの作製を中止。

作製物：応募要項（A4チラシ） 8,600部

- 応募時の性別表記を廃止

これまで応募要項では、性別の明記を必須としていたが、地域組織から見直しの要望を受け、作文審査員など教育関係者に確認を行った結果、

- ・学校現場では男女の区別をしていない。
- ・これまで応募者及び入賞・入選者の性別は公表しておらず、審査に関わる項目ではない。

以上により検討の結果、当該年度より性別の記載は不要とする。

〔実施要項〕

後援：内閣府 文部科学省 NHK 毎日新聞社

テーマ：「小さな親切」

特別テーマ1：「世界との出会い ～ありがとう、どういたしまして～」

特別テーマ2：「コロナが教えてくれたこと」

応募資格：小学生・中学生（小・中学生と同年齢のものを含む）

応募方法：1) 400字詰め原稿用紙3枚（本文のみで1,200字）

2) 地域組織・学校でとりまとめて応募する場合は必ず選考を行う

副賞：メダル、腕時計、電子辞書、電波時計、文房具等

締め切り：令和3年9月24日（金）必着

最終審査会：令和3年10月26日（火）予定

※審査手順：第1次審査、第2次審査、作文審査員審査会（最終審査会）

入賞・入選者数：130名 内訳／大臣賞2名・運動本部賞2名・特別優秀賞6名

フレンドシップ賞1名・優秀賞19名・入選100名

要項・入賞発表：毎日新聞・教育新聞・情報誌『小さな親切』・WEBサイト

表彰式：令和3年11月20日（土）に予定していたが中止。地域組織、学校に賞状等の伝達を依頼。

3. 青少年すこやか育成事業

（公財）JKA 補助事業としての「青少年すこやか育成事業」は令和2年度で終了し、当該年度より自主事業として継続する。

- 紙芝居を用いた道徳授業の実施
- 青少年教育専用WEBサイト「てらこあん」の運営

4. みんなつながる、トモダチ作戦

- 「伝えよう、日本の心プロジェクト」事業の一環として展開
東京2020応援マーク入りのぼり・たすき・ポスターを提供。
8月以降は、従来の活動グッズの提供に変更する。
- 活動グッズの有料化
 - ① 従来の活動グッズ
 - ・当該年度より、非会員へは1セット3,000円（税込、送料込み）で提供。
 - ・組織経由の申し込み及び会員校の場合は、これまで通り、無料で提供。
 - ② 応援マーク入りグッズ
 - ・組織、会員、非会員ともに無料提供（但し、非会員は送料700円）。
- 活動グッズを代金前納（前払い）に変更

非会員には活動グッズ代金を前納してもらい、入金確認後にグッズを送付する。

提供予定数：応援マーク入り 100 団体 / 従来のデザイン 100 団体

※1 団体につきのぼり 3 枚・たすき 10 枚・ポスター 4 枚

5. ことばの魔法プロジェクト

第 37 回「小さな親切」はがきキャンペーン

- 「伝えよう、日本の心プロジェクト」事業の一環として展開
特別テーマ「世界との出会い ～ありがとう、どういたしまして～」を設けて募集。
- 特別テーマ 2 を設定
コロナ禍の中で気づいた思いやり、他者との心の距離について考えたことについて綴ってもらおうと、特別テーマ 2 「コロナのある生活」を設定。

作成物：応募要項 5,000 部

〔実施要項〕

後 援：日本郵便株式会社 読売新聞社

テ ー マ：「心から伝えたい“ありがとう”」

特別テーマ 1：「世界との出会い ～ありがとう、どういたしまして～」

特別テーマ 2：コロナのある生活

対 象：子どもから大人まで

応 募 方 法：はがき及び専用フォームまたはメールで応募（いずれも 600 字以内）

締 め 切 り：令和 3 年 9 月 8 日(水) 当日消印有効

審 査 会：令和 3 年 10 月 6 日(水) 予定

入賞・入選者数：25 名 内訳／大賞 1 名・日本郵便賞 1 名・読売新聞社賞 1 名

審査員特別賞 1 名・フレンドシップ賞 1 名・入選 20 名

副 賞：上位賞／切手帳・図書カード・高級文具

入 選／図書カード・書籍・文具

要項・入賞発表：読売新聞、公募ガイド、情報誌『小さな親切』、本部 WEB サイト

表 彰 式：令和 3 年 11 月 20 日（土）に予定していたが中止。地域組織に賞状等の伝達を依頼、または受賞者に直接送付。

6. 令和 3 年度「小さな親切」運動全国表彰式

- 式典開催中止
現時点では 16 歳未満はワクチンの接種対象となっておらず、出席者の半数近くを占める小・中学生の安全の確保が難しいことから、表彰式を中止する。
- 運動大賞・運動賞の表彰中止
内閣官房長官賞（5 名）は内閣府に推薦するが、大賞・運動賞の表彰は中止する。

7. 『小さな親切』誌の刊行 <(一財)日本宝くじ協会助成事業>

- 季刊発行 年4回 / 春号5月・夏号8月・秋号11月・新春号1月)
- 発行部数削減
資材の高騰及び会員数の減少に伴い、発行部数を削減。
発行部数 1回あたり約 30,000部 年間延べ 120,000部
- 紙面を減らし、フルカラーに変更
紙面を 10頁 (従来 18頁) に減らし、冊子の重量を軽くして今後予想される送料の値上げに対応する。また全頁フルカラーにし、訴求力を高め魅力ある紙面を目指す。

8. 地域の輪・和・環プロジェクト

- 車椅子の斡旋
車椅子発注先 A2Z (東京都・ピジョンタヒラ代理店)
- 機種を変更
前年度斡旋の機種が値上がりのため、同価格で斡旋できる機種 (BAL-1) に変更。
- 週ごとの発送に変更
購入組織への日にち指定発送を、週指定発送に変更する (原則として指定週の金曜日着)。なお、贈呈式の都合などで到着日の指定がある場合は、別途応相談。

[実施要項]

種 類: • BAL-1 (アルミ製) シートカラー: ブルー
自走式/介助ブレーキ (ドラム式) 付/背折れタイプ
キャスター6×22インチ/座幅 40cm/前座高 43.5cm/全長 98cm
全幅 65cm/全高 86.5cm/重量 12 kg

• プレート

サイズ縦 4 cm×横 11 cm/白地に黒文字の亚克力製
文字は 3段以内で 1段は 13 文字程度

価 格: ①車椅子 18,400 円 /メーカー希望小売価格 69,000 円
②プレート 2,100 円 / 希望組織のみ

展 開 方 法: • 4月 購入希望アンケート (台数及びプレートの有無) を実施
• 6月 車椅子購入台数を集計し、A2Z に発注
• 10月 1日(金)~30日(土) の期間に A2Z より指定寄贈先へ発送
代金請求&入金: 中央本部から 11月に購入組織に請求。12月 25日(金) までに入金

9. 日本列島クリーン大作戦 (38回目)

- 「伝えよう、日本の心プロジェクト」事業の一環として展開
東京 2020 応援マーク入りのぼり・ポスターを無料提供。
感染症対策に留意し、小中規模で行うなど、可能な範囲での実践を呼びかける。

- 令和3年度日本たばこのごみ袋提供数及び発送
80,000部(30ℓ、12ℓ) / 昨年度比 35,000部減
 - ・ ごみ袋の活用：基本的には、昨年度の残部を使用する。
 - ・ ごみ袋の希望：日本たばこからのごみ袋が大幅に削減したことから、活動報告(中止報告及び実施活動報告)があった地域組織を優先し、中央本部で調整をはかる。
 - ・ ごみ袋提供数の決定 3月5日(金)
 - ・ ごみ袋の発送 4月上旬

〔実施要項〕

後 援：内閣府、文部科学省、総務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、警察庁

協 賛：コカ・コーラ協会、(公社)食品容器環境美化協会、スチール缶リサイクル協会、(公財)日本環境協会、日本石鹼洗剤工業会

スローガン：美しい日本、美しい心

期 間：令和3年4月1日(木)～令和4年2月28日(月)

10. 日本列島コスモス作戦(33回目) <協力：タキイ種苗(株)>

- 種子の斡旋
コスモス種子(dℓ・ℓ)及び種子袋、ミニヒマワリ種子袋、ヒマワリ種子袋の斡旋。
- 種子袋の斡旋価格値上げ
諸経費の高騰により、タキイ種苗は種子を値上げ。これにより、各種子袋の斡旋価格を値上げする。

なお、例年各種子袋は同価格としていたが、今回の価格改定に当たってミニヒマワリは調整が難しく、他の種子とは異なる価格での斡旋となる。
- ミニヒマワリの品種変更
ミニヒマワリ種子を、より生育の良い品種「スマイルラッシュ」に変更する。

〔実施要項〕

新 単 価：	①コスモス種子袋	1袋	14円
	②ミニヒマワリ種子袋	1袋	16円
	③ヒマワリ種子袋	1袋	14円
	④コスモス種子	1dℓ	550円
		1ℓ	5,445円

受 注：1月中旬から注文受け付け、2月10日に注文数確定

種 子 発 送：4月中旬

代金請求と入金：中央本部から4月請求し、5月末日までに入金

11. 使用済み切手等寄贈

- 使用済み切手の寄贈
個人、企業、学校等からの寄贈分を中央本部でとりまとめ、寄贈先に送付。
- 寄贈先「(公財) 緑の地球防衛基金」
これまで使用済み切手等を送付していた(公財) ジョイセフが、収集を取りやめるため、令和2年度に送付していた(公財) 緑の地球防衛基金を正式に寄贈先とする。
なお、(公社) 日本キリスト教海外医療協力会は、令和4年3月末までの収集中止を発表したため今年度は寄贈先とせず、次年度以降、改めて加えることとする。
〈寄贈先一覧〉
 - 使用済み切手 (公財) 緑の地球防衛基金
 - 使用済みプリペイドカード NPO 法人日本国際ボランティアセンター
- 協力者氏名をホームページに掲載

12. 伝えよう、日本の心プロジェクト 〈東京 2020 応援プログラム認証事業〉

- 東京 2020 大会が開催される場合の展開
感染症の流行状況により、東京大会の中止も考えられるが、現時点では、開催を前提として、応援プログラムの認証を受け、前年度と同様の取り組みを行う。
特に多人数が集まる日本列島クリーン大作戦に関しては、必ず感染予防対策を取って開催することを、地域組織に伝達。
- 東京 2020 大会が中止の場合の展開
仮に中止となった場合も、のぼり旗等の応援マークを使ったグッズ使用は停止するものの、本プロジェクト自体は継続する。

〔実施要項〕

事業：東京 2020 応援プログラムの認証を得た既存 5 事業で取り組む。

- 1) 日本列島クリーン大作戦
- 2) みんなつながろ、トモダチ作戦 (あいさつ運動支援活動)
- 3) 「小さな親切」実行章
- 4) はがきキャンペーン
- 5) 「小さな親切」作文コンクール

活動&作製物：各事業の実施要項にのっとって取り組む

期間：令和 3 年 4 月 ～ 9 月末まで

(大会中止が発表された場合は、その時点でグッズ使用を中止)

13. その他

- 各地域の親切運動支援
 - 1) 地方活動助成費の交付 / 6 月交付予定・令和 2 年度会費収入の 12%

- 2) 全国地方本部事務局長会議〈予定〉
と き：令和4年2月10日（木）13：00～16：30
と ころ：ベルサール飯田橋駅前 2階会議室
- 3) 地域組織の各種会合への講師派遣、会議出席等

○ 各種パンフレット、ポスター等の作製

- 1) 基本資料：「小さな親切」運動イメージポスター・基本パンフレット・三つ折りしおり・八か条カード・実行章パンフレット
- 2) 法人会員楯、会員バッジなど

収益事業

1. はがきキャンペーン作品の書籍化

単行本発行に向けて、出版社と検討を行う。

2. 「小さな親切」運動グッズの販売

ボールペン：@ 100円（地域組織販売価格 @60円）

クリアファイル：@ 50円（地域組織は送料のみ負担／年初のみ）

マスクケース：@400円（地域組織・会員販売価格@350円）

※会員には割引を行い、会員特典を設定する。

○ グッズは代金前納（前払い）に変更

送料未入金の際の架電、再請求などの諸経費を軽減するため、非会員にはグッズ代金を前納してもらい、入金確認後にグッズを送付する。

3. 作品集の販売

作品集 / 作文コンクール&はがきキャンペーン合併版 3,000部予定

その他事業

1. 総会・理事会

1) 第11回社員総会

と き 令和3年6月22日（金）予定 14：00～

と ころ 運動本部事務局

2) 理事会 3回開催予定

2. 「小さな親切」運動本部特任推進委員の委嘱

特任推進委員を拡大し、地域における親切運動の牽引を依頼。

3. エコキャップ収集運動

地域組織の自主事業として展開。

4. 心の国際交流

地域組織の自主事業として展開。

広報活動

1. WEB サイト等による情報発信

公式 WEB サイト、Facebook YouTube 等を通じて、地域組織の活動等リアルタイムの情報を全国に発信していく。

2. 感染症対策情報等の提供

○ 感染症流行下のコミュニケーションのあり方を発信

元厚労省クラスター対策班の和田耕治氏（国際医療福祉大学医学部公衆衛生学教授）及び（一社）感染症対策コミュニケーションラボの協力を得て、県本部・支部に感染症対策に関する正しい知識と、クリーン等イベント・表彰式等の安全な実施方法の情報伝達を行うと共に、この時代のコミュニケーションのあり方、差別や偏見のない思いやりの行動の大切さを広く社会に発信する。

方法として、青少年向け教育プログラムの提供、WEB セミナー等を開催予定。

寄 附

会員・非会員を問わず、広く「小さな親切」運動への理解を深め、「小さな親切」運動及び各種事業から選択した事業への寄附を呼びかける。

○ クレジットカードの WEB 決済導入

4月より、寄附金のクレジットカード WEB 決済を導入。会員会費についても同様。

見舞金

中央本部の定めた基準にそって見舞金の募集を行い、被災地に贈る。